

2007 環境シンポジウム

◆◆◆ 2010年環境行動計画目標達成に向けて ◆◆◆

趣 旨

「エコアクション21」では、環境目標に「市民による環境行動に対する協力」を掲げ、環境共生型の住まい方に関する情報等をエンドユーザー等へ積極的に提供することを目標としています。

この活動の一環として、今年も環境行動計画の2006年度目標管理調査実績結果と、会員各社の環境への取組み事例の報告会を下記のように開催致します。

住宅事業者及び従業員をはじめ、一般の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

開催日時

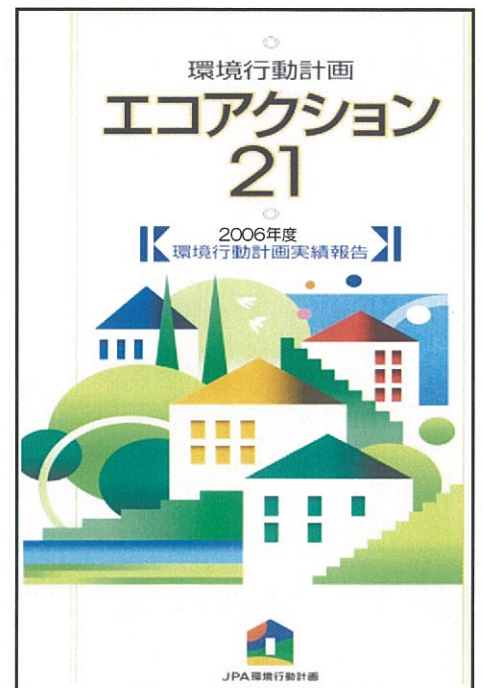
平成19年11月30日 金曜日 13:00 ~ 16:50


会 場

住宅金融支援機構 本店 すまい・るホール

スケジュール

- 13:00 ~ 開会のあいさつ
- 13:05 ~ 特別講演『環境未来予測と建築』
国際連合大学 副学長 ^{やす}安 ^{いたる}井 至 氏
- 14:00 ~ 「2006年度エコアクション21」調査実績報告
- 14:30 ~ (休 憩)
- 14:40 ~ 各社 改善事例報告
 - (1) 積水化学工業(株)
「未利用木材を活用したエコバリューウッドの開発」
 - (2) ミサワホーム(株)
「居住者の心地よさと生態系に配慮した住環境づくり」
——微気候デザインの方向性——
 - (3) 大和ハウス工業(株)
「部材輸送におけるCO₂排出量削減の取組み」
 - (4) トヨタホーム(株)
「景観に配慮した街づくり」
 - (5) エス・バイ・エル(株)
「持続可能な森林からの木材調達」
- 16:30 ~ 質疑応答
- 16:45 閉 会



主催  社団法人 プレハブ建築協会
環境分科会

講演者紹介

^{やす}安 ^{いたる}井 至 氏 (国際連合大学 副学長)

〔経歴〕 1968年 東京大学工学部合成化学科 卒業
 1973年 東京大学大学院工学系研究課博士課程修了
 1990年 東京大学生産技術研究所 教授
 1996年 東京大学国際・産学共同センター・センター長を併任
 2003年 国際連合大学 副学長
 2005年 東京大学名誉教授
 現在、環境省中央環境審議会政策部会臨時委員、総合科学技術会議環境にシヤティブ 専門委員、文部科学省科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会地球環境科学技術委員会専門委員、日本LCA学会副会長、(社)環境科学学会会長、(社)日本化学会論説委員、(社)未踏科学技術協会「CO₂削減対策調査委員会」委員などを務める

〔受賞〕 窯業協会進歩賞、日本セラミックス協会学術賞、産業管理協会論文賞、PORT賞、3Rマイスター 他

〔著書〕 「高機能性ガラス」東大出版会(1985)、「リサイクルのすすめ」丸善(1995)、「市民のための環境学ガイド」丸善ライブリー(1998)、「21世紀の環境予測と対策」丸善(2000)、「環境と健康」丸善(2002) 他多数

〔講演要旨〕 建築物の寿命が40年以上あることを考慮すると、2050年における環境の状況を勘定に入れた建物の設計を行うべきである。さらに、町並みの保全といった新たな付加価値を考慮した街の設計が行われることが望ましい。すなわち、環境問題を超長期的に測し、人々のマインドがどのようなになっているか、環境のみならずエネルギー・資源などの供給がどのような状況になっているか、このような未来ビジョンをもった上でないと、建物を販売することも難しくなっているのではないだろうか。一方で、安価な製品が売れるという現実があり、企業戦略のバランスの取り方が問われる時代だと言える。

お申し込み・お問い合わせ

お申し込み 下記の「環境シンポジウム参加申込書」にご記入のうえ、FAXにて送信下さい。
 尚、定員(250名)を超えた場合は、お断りすることがございます。

参加費 無料

お問い合わせ 社団法人 プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局

TEL.(03)3502-9451 FAX.(03)3502-9455

住宅金融支援機構本店 1階 すまい・るホール ご案内図



(社)プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局 行

FAX.(03)3502-9455

「環境シンポジウム参加申込書」

平成19年11月20日までにFAXして下さい

会社名 (団体名)		TEL.	
氏名	所属・役職		

(社)プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルB階